

2015～2016 年度
国際ロータリー第 2510 地区

ロータリー地区大会 報告書



日 時 : 平成27年10月4日(日)

場 所 : まなみーる「岩見沢市民会館」

ホストクラブ : 岩見沢ロータリークラブ

当日参加したプログラム

10月4日(日)

8:00~	ローターアクトブース設置
9:40~10:00	本会議参加(青少年としてローターアクトを紹介していただきました)
10:15~15:00	青少年プログラム
	① 野外でのバームクーヘン作りと炊飯体験
	② 空知 de ランチタイム
	③ SHIEN 学講義
17:00~	記念懇親会

参加者

◀◎：会長、○：副会長、●：幹事▶

参加ローターアクトクラブ【国際ロータリー第2510地区】

地区代表補佐	三本 彩奈	(室蘭北ローターアクトクラブ)
地区幹事	山下 彩夏	(赤平ローターアクトクラブ)
地区会計	田中 美晴	(赤平ローターアクトクラブ)
地区広報	北村 秀美	(千歳ローターアクトクラブ)
地区広報	伊東 かほり	(札幌幌南ローターアクトクラブ)
室蘭北ローターアクトクラブ	畠山 裕太	
赤平ローターアクトクラブ	◎塩地 恵実	工藤 睦美
千歳ローターアクトクラブ	◎汪 可惺	●村山 はるか 廣岡 啓子 吉岡 毅
札幌幌南ローターアクトクラブ	○プーナット・スパークン	●吉田 剛

アクトブース 設置

地区大会の会場の一角にアクトのブースを設置させて頂きました。ブースには2510地区各クラブの紹介や地区行事の紹介を、活動の様子の写真と共に掲示しました。また、地区と各クラブの活動報告書も手に取れるように設置しました。ロータリアンの方々をはじめ皆様にアクトのPRの機会を与えて頂きありがとうございました。会場にはインターや留学生のブースもあり活動を垣間見ることができました。



ブースを作成中



ブース設置完了!



ブースの前で集まりました。

本会議

国際ロータリー第 2510 地区ローターアクトクラブがガバナー嵯峨義輝様よりクラブごとに紹介されました。クラブ名が呼ばれ「ヤー」とローターアクトクラブをアピールして参りました。緊張しましたが、堂々と登壇し少しでもローターアクトクラブをアピールできるともよかったです。アピールできたことと共にさらにローターアクトクラブ活動に励もうという力にもなりました。

青少年 プログラム

青少年プログラムとして「空知 de ユースフルメチャレンジプログラム」～空知の大地の恵みから考え、感じ&奉仕の心を届けようプログラム～が行われました。〈地元食材を使い自作メニューで創る野外クッキング〉と〈タイ東北で自立して生きるために頑張っている学生たちに心を届けるプログラム〉をインターの方々や留学生の方々と共に楽しい時間を共有でき、貴重な経験となりました。

① 野外でのバームクーヘン作りと炊飯体験

野外クッキングでは、バームクーヘンと空き缶で作るごはん炊きの 2 グループに分かれて行いました。どちらの班も初めての方が多く楽しみながら行いました。バームクーヘン班ではロータリアンの方にお手伝い頂きながら少しずつバームクーヘンの素を棒にくぐらせていき、ゆっくりと生地を厚くしていきます。これを数回繰り返すと完成です。空き缶でのごはん炊き班では、キャンプでやるような空き缶でごはんを炊くというような内容でした。空き缶にお米と水を入れてアルミをかぶせて炭の上へ。20～30分すればできあがりです。食べてみると、今まで食べたお米よりずっと美味しくお米の本来の味が味わえました。これは滅多にできない経験で、今後のアクト活動に生かせると感じました。



炭火でバームクーヘン作り



空き缶でのごはん炊き



美味しそうなバームクーヘン

② 空知 de ランチタイム

ランチタイムでは、インター出身の室蘭北ローターアクトクラブ 島山さんが「いただきます」の挨拶をしました。食事はロイトン札幌総支配人の大浦隆司様お手製のカレーを頂きました。とても美味しく、おかわりの列が出来ていました。野外クッキングで炊いたごはんを食べてみると、今まで食べたお米よりずっと美味しくお米の本来の味が味わえました。



カレーの盛付を手伝いました。



美味しそう！



島山さんの「いただきます」

③ SHIEN 学講義

SHIEN 学講座では、一般社団法人北海道広域避難アシスト協会代表理事佐藤伸博様に「今私たちにできること」「大震災で学んだ三つの大切な事」について勉強しました。3. 11の東日本大震災があり、人とのつながりや今あるものの大切さ、自分が立ち上がり何かを行うなど、私たちの行っている社会奉仕活動にこの講座に繋がりがあのだと感じ、最後にSHIENとは「重なりがなかったところに新たな重なりを作る」と教えていただきました。そこで、4人一つのグループに分かれお互いの困っていることを聴きアドバイスを試みようというワークショップを行いました。聴くのは簡単でもそれにアドバイスするというのはとても難しく、皆難しいと言いながらも考えて出した答えには、相手にとっていくつもの光が詰まったアドバイスばかりでとても参考になりました。今後のアクトクラブ活動になくてはならない講座だと感じました。



プーさんがタイ留学生の方の話を通訳



会場の様子



プーさんが講師の方にお礼の挨拶

記念懇親会

イベントホール赤レンガで行われた記念懇親会では、私たちアクトクラブは出店のお手伝いに参加しました。そこではキジ汁を作成し、タイの子供たちのために寄付をくださったお礼にキジ汁を飲んでいただきました。私たちもこちらに賛同しお手伝いさせていただきました。ロータリアンの皆様のご協力で19万4千円も集めることができました。ロータリークラブの皆様本当にありがとうございました。



乾杯のご挨拶



キジカレースープいかがですか？



タイ本場の笑顔です♪



会場の様子



募金のお礼の挨拶



コップカー（ありがとう）

『2015-2016 国際ロータリー第2510地区 地区大会』

国際ロータリー第2510地区

地区代表補佐 三本 彩奈

日時 2015年10月4日(日) 会場 岩見沢市民会館 岩見沢南部連合会館

今年のロータリーの地区大会、青少年プログラムは空知の食と震災についての講演だった。空知の食ではロイトン札幌の総支配人の大浦さんがきじカレーを作ってくださったり、タイや米山の奨学生のみなさんやインターの方々やバウムクーヘンをつくって交流を深めた。タイからのピンピンにはお互いにつたない日本語とタイ語でよいコミュニケーションをとることができた。震災の「今、私たちにできること…」ではお互いのアシストの大切さを学び、今後に生かしていければとおもった。

『ロータリークラブ地区大会に参加して』

国際ロータリー第2510地区

地区幹事 山下 彩夏

平成27年10月4日、岩見沢市にて開催されたロータリークラブの地区大会に参加いたしました。

青少年並行プログラムでは「今私たちにできること…」と題し、北海道広域避難アシスト協会の代表理事よりご講演をいただきました。その講演の中で、SHIEN 学という言葉をはじめて聞き、強く感銘を受けました。「してもらう/してあげる」という関係を重視することで、人とのつながりが深まり、それが大震災など予期せぬ事態が起こった場合に活かされることを学びました。私が所属する赤平ローターアクトクラブ内でも、相手のことを思い、SHIENし合えるような関係性を構築し、活動を続けていけたらと感じました。

『RC 地区大会報告書』

国際ロータリー第2510地区

地区会計 田中 美晴

10/4(日)、岩見沢まなみーるにて開催された国際ロータリークラブ第2510地区の地区大会に参加した。掲示物作成に始まり、青少年プログラムでは空き缶を利用した炊飯、防災について、SHINE ワークショップ等、普段体験できないことを学べ、とても有意義な時間だった。懇親会会場では、タイの方と協力してキジカレー汁の提供をした。少しでも募金活動の手助けとなったならよかったと思う。



『地区大会について』

国際ロータリー第2510地区

地区広報 北村 秀美

地区大会に参加して、青少年プログラムでインターアクトクラブの方々と一緒に炊飯作業したり、バームクーヘンを一緒に作ったりと初めての方が多かったのですが、一つの事を一緒に行うことによって、少しでもコミュニケーションやチームワークの必要性やインターアクトとローターアクトと一緒に活動できたことはお互いにとっても勉強になったと思います。懇親会では出店のお手伝いをアクトとしてできたこと、本当に良かったとおもいます。皆で協力して何かを達成する、達成感を感じられたのではないかと思います。

この地区大会でSHIENなどの新たな情報や知識を学べて本当によかったと思います。

そしてみんなで一緒に活動できたことに嬉しく思います。



『10/4 国際ロータリー第2510地区 地区大会参加報告書』

国際ロータリー第2510地区

地区広報 伊東 かほり

青少年プログラムではインターや留学生の方々と野外でのバームクーヘン作りを体験し交流し、ワークショップではSHIEN学やタイの子供達の現状について学びました。懇親会ではキジカレーの提供を通してタイの子供達への募金活動をさせて頂きました。ロータリアンの皆様の温かい心を改めて感じる機会となりました。また、よりアクトの活動を知ってもらうため、会場内にアクトのブースを設置させて頂きました。参加させて頂きありがとうございました。

『国際ロータリー2510地区 地区大会に参加して』

国際ロータリー第2510地区

室蘭北ローターアクトクラブ 畠山 裕太

国際ロータリー2510地区、地区大会に室蘭北ローターアクトから三本 畠山 2名で参加しました

青少年プログラムではIACと一緒にビールの缶を使いご飯を作ったりバームクーヘンを作りました。ビールの缶でご飯を作ることができるのは驚きでした。その後みんなで作ったご飯でカレーを食べました。

その後SHIEN学を学びました。各テーブルでお互いの抱えてる悩みを話し合いました。最初は言い出しづらかったのですが、周りの相談を聞いてる間に自分も悩みを打ち明けることが出来ました、自分以外の意見、別の目線からの意見を聞いて新たな解決法を出すことが出来ました。ロータリーの方からも色々なことに手を出してみろとおっしゃっていただき勇気をもらえました。

地区大会に参加出来てとても良かったです。

『ロータリークラブ地区大会に参加して』

国際ロータリー第2510地区
赤平ローターアクトクラブ 塩地 恵実

今回は、事前に、ローターアクトについての掲示物づくりから参加させていただきました。当日は、川下アクト副委員長からのアドバイスで持ち寄った活動写真を散りばめたことで掲示にボリュームが出て、アクトの活発さや活動内容の多彩さが伝わるブースになりました。

また、質問のみで解決策を見出すグループワークでは、新しい考え方にはとどまる場面も多く、私が今回最も面白いと感じたプログラムでした。質問に答えることで相談者も自分の悩みを客観的に整理することができ、また質問者も合計6個の回答のみで考えるので、悩み事の一側面に焦点を当てた端的な解決策が出てきて非常に参考になりました。展示方法や考え方など新しい手法を知ることができ、とても有意義な経験になりました。どうもありがとうございました。



『地区大会に参加して』

国際ロータリー第2510地区
赤平ローターアクトクラブ 工藤 睦美

平成27年10月4日、岩見沢ロータリークラブホストのもと開催された地区大会に参加させていただきました。

ローターアクトクラブを紹介するブースも設けていただき、活動内容など、ローターアクトについてアピールさせていただきました。

また、青少年プログラムでは「空知deユース グルメ&チャレンジ」というテーマのもと地元食材を使い野外でカレーとバウムクーヘンを作りました。カレーはお米をビールの空き缶で炊き、バウムクーヘンは竹の棒にアルミホイルを巻きその部分に何層にも生地をかけ炭火で焼いていきました。両方とも私にとっては初めての経験でした。また、北海道広域避難アシスト協会 佐藤様講師のもと、グループディスカッションを行いました。

「学び」の違いというテーマでは「学習」と「気づき」について考えました。「学習」は外側から教えてもらうこと「気づき」は自ら気づき、学ぶ言葉ひとつで意味合いが大きく異なることを改めて考えさせられました。

今回、地区大会に参加させていただき、普段なかなか交流することがないインターアクトなどの青少年メンバーやロータリアンのみなさま、多くの方々と共に活動し少しですが親睦を深められたと感じております。

この度は地区大会に参加させていただきありがとうございました。



『2015 - 2016 国際ロータリー第2510地区 地区大会報告書』

国際ロータリー第2510地区
千歳ローターアクトクラブ 汪 可悝

10月4日千歳アクトから五人で岩見沢にロータリーさんの地区大会に参加しにいました。

ロータリーさんと別会場で、インターと交換留学生と手作りバウムクーヘンとビール缶でご飯を炊きました。ワイワイしながら、学生みたいな感じに戻りました。

またホテルの料理人が作った空知のカレーをいただいてから、SHIEN システムという震災後私たちがなにかできるかの考え、ディスカッションするプログラムを行いました。

ものすごく勇気がもらえる、純粋な気持ちに戻る感じがしました。

夕方の懇親会はとても素晴らしい演出がありましたが、屋外の屋台のため、我々青少年奉仕がなかなか中に入れなくてロータリーさんと交流が少ないと残念だと思いました。ローターアクトは留学生だとまだアクトを理解していないロータリーさんもいましたので、これからローターアクト活動を知って頂くためもっともっと頑張ろうと思いました。

『地区大会を終えて』

国際ロータリー第2510地区
千歳ローターアクトクラブ 村山 はるか

まず地区大会に行った時の第一印象は規模が違うことでした。わたしは青少年交換留学の候補生の時、また帰国後のROTEXの時にも来たことがありますが、その時はお客様状態で参加していたのでそれほど感じませんでした。ですが、今回ローターアクトとして出席し、ローターアクトの地区大会と比べたことからかそのように感じました。クラブの数も違えばクラブ一つの人数も違うので当たり前かもしれませんが、ローターアクトもこのように立派な地区大会を行いたいと感じた地区大会でした。当日はロータリアンの方と関わる機会は少なく、懇親会の際に近くの街のクラブに挨拶ができ、とてもいい経験になりました。青少年の活動としてカレー作りとバウムクーヘン作りがあり、わたしはバウムクーヘン作りに参加しました。時間が足りなくお店に売っているものは作れませんが、美味しく、すぐに食べ終えてしまいました。食事の際に高校生との交流もあり、今まで知らなかったロータリーと関わりを持っている学生と話ができこれもまた、いい機会になりました。

『2015 - 2016 国際ロータリー第2510地区 地区大会報告書』

国際ロータリー第2510地区
千歳ローターアクトクラブ 広岡 敬子

地区大会に参加させて頂き、様々な年代の方と交流を持って、またプログラムを通し新鮮な知識を得られた事をとてうれしく思っています。個人では微力であっても同じ志を持った素晴らしい人々が集い活動を行えば、必ず良い結果を得られ、元より活動を楽しめるのではないかと改めて勉強になる1日を過ごすことができました。

私もアクトのメンバーという立場を存分に生かし、仲間と楽しみながらできる社会貢献や奉仕活動を行っていきたく思いました。

『2015-2016 国際ロータリー第2510地区 地区大会報告書』

国際ロータリー第2510地区
千歳ローターアクトクラブ 吉岡 毅

私は今年で3回目の参加となるロータリークラブの地区大会。所用により記念懇親会の途中からの参加となりましたが、懇親会中にもブース出店などの担いがあり、他の青少年関係者の方たちと交流することができました。タイからの留学生と一緒にカレー募金を実施し、皆様の暖かいご支援により多くの募金が集まりました。今回はカレー募金メインでしたが、来年は懇親会のブースでも「ローターアクト」についてのPRを実施し認知度向上や会員拡大に繋げることができれば良いなと感じました。



『国際ロータリー第2510地区2015-2016地区大会報告書』

国際ロータリー第2510地区
札幌南ローターアクトクラブ 吉田剛

平成27年10月4日岩見沢市民会館・文化センター「みなまーる」にて国際ロータリー第2510地区2015-2016年度地区大会が開催された。ローターアクトも第2510地区としてブースの一部を貸して頂き広報活動をした。青少年委員の平行プログラムでは、インターアクトと共に災害にあったときの講習や、グループ内でのコミュニケーション・ディスカッションの実習を行った。懇親会では、カレーと引き替えに募金をして頂く、「カレー募金」を行った。殆どの方が一人あたり1,000円以上の額を募金して頂き、合計20万円弱の金額を寄付して頂く事が出来た。お預かりしたお金は、タイの教育援助のために使われる



『ロータリー地区大会に参加して』

国際ロータリー第2510地区
札幌南ローターアクトクラブ プーナット・スパーブクン

札幌南アクト、プーナットです。岩見沢におけるロータリー地区大会に参加させていただき誠にありがとうございました。今回は平行プログラムの会場で色々手伝わさせていただきました。本当にロータリーの皆様と色んな方々と一緒に楽しい時間を送りました。今後も感謝の気持ちで参加していきたいと思えます。宜しくお願い致します。





◆発行年月◆ 平成27年10月

◆発行元◆

国際ロータリー第2510地区広報

伊東かほり・北村 秀美・中野 佑美